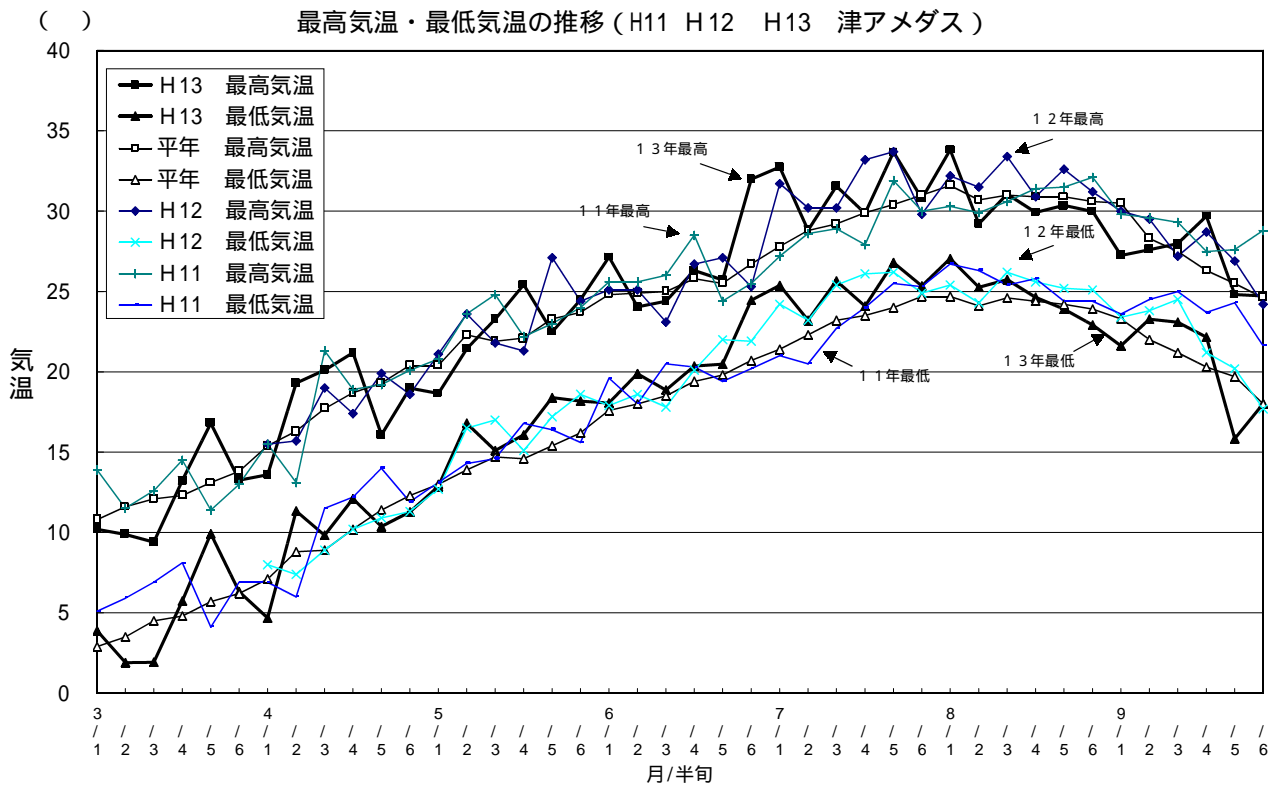


### 3 - ( 5 ) 三重県

#### 1 米の品質や指導の状況

##### ( 1 ) 気象経過



##### ( 2 ) 生育データ

作況試験調査成績 ( 三重県科学技術振興センター農業研究部作物グループ調べ )

調査項目	平年値は過去12か年平均			
	13年産	12年産	11年	平年
出穂期	7/15 ( -8 )	7/18 ( -5 )	7/20 ( -3 )	7/22.5 ( 0 )
成熟期	8/17 ( -10 )	8/23 ( -4 )	8/27 ( 0 )	8/27.4 ( 0 )
稈長 ( cm )	89.6 ( 103 )	85.8 ( 99 )	91.8 ( 106 )	86.8 ( 100 )
穂長 ( cm )	20.4 ( 105 )	19.5 ( 100 )	20.2 ( 104 )	19.5 ( 100 )
m <sup>2</sup> 当たり穂数 ( 本 )	338 ( 95 )	397 ( 112 )	369 ( 104 )	356 ( 100 )
一穂穂数 ( 粒 )	90.0 ( 107 )	84.8 ( 100 )	84.6 ( 100 )	84.5 ( 100 )
m <sup>2</sup> 当たり穂数 ( 百粒 )	294 ( 98 )	338 ( 112 )	301 ( 100 )	301 ( 100 )
登熟歩合 ( % )	76.5 ( 96 )	82.0 ( 103 )	65.9 ( 83 )	79.6 ( 100 )
玄米千粒重 ( g )	22.2 ( 100 )	22.1 ( 99 )	22.4 ( 101 )	22.3 ( 100 )
精玄米重 ( kg )	58.1 ( 105 )	62.7 ( 113 )	54.4 ( 98 )	55.3 ( 100 )
倒伏程度 ( 0 ~ 5 )	1.0	2.0	2.4	1.5

\* 栽植密度20.8株 / m<sup>2</sup> 1株3本植え 施肥:基肥 0.3kg/a 穂肥 0.3+0.3kg/a

生育基準田調査成績（県下各地域普及センター調べ）

年度	移植期	出穂期	成熟期	コシヒカリ 平年値は過去7カ年平均（10ヶ所）			
				稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	有効茎歩 (%)
H13	4/23.1	7/16.5	8/19.5	84.5	19.5	316	72.7
H12	4/25.1	7/18.0	8/22.3	81.6	18.7	378	71.8
H11	4/21.2	7/18.0	8/24.4	83.0	18.7	416	73.2
平年	4/23.1	7/20.0	8/24.0	82.7	19.1	385	70.5

年度	一株穂数 (本)	一穂粒数 (粒)	m <sup>2</sup> 当粒数 (粒/m <sup>2</sup> )	登熟歩合 (%)	玄米千粒重 (g)	精玄米重 (kg/10a)
H13	18.1	78.1	28,478	76.0	21.7	546
H12	18.8	72.1	27,410	76.4	21.8	573
H11	20.3	72.6	30,100	71.7	21.7	538
平年	18.7	79.7	29,830	82.4	24.2	587

(3) 品質状況

検査等級比率の推移(うるち全体・%)						
	1等	2等	3等	等外	規格外	
H 4	62.9	29.8	0.8	6.4	0.1	
H 5	75.2	13.2	1.0	10.4	0.2	
H 6	66.2	28.1	1.8	3.7	0.2	
H 7	69.6	26.9	0.7	2.8	0.0	
H 8	87.6	11.9	0.5	0.0	0.0	
H 9	55.6	43.5	1.0	0.0	0.0	
H 10	74.1	22.7	1.8	0.0	1.4	
H 11	61.0	36.7	1.2	0.0	1.1	
H 12	62.5	36.4	0.8	0.0	0.3	
H 13	<b>22.0</b>	<b>74.0</b>	<b>2.2</b>	<b>0.0</b>	<b>1.8</b>	

13年産米の地域別検査等級(2/末日現在・%)				
支所名	1等	2等	3等	規格外
四日市	13.7	82.5	3.8	0.0
地域課	8.6	88.6	2.8	0.1
松阪	42.8	56.3	0.9	0.0
伊勢	16.3	82.1	1.5	0.0
上野	31.0	59.8	1.7	7.4
熊野	30.5	64.9	4.1	0.4
<b>合計</b>	<b>22.2</b>	<b>73.7</b>	<b>2.3</b>	<b>1.8</b>

注) H13は14年2月末日現在、  
 その他は最終(翌年10月末日現在)

13年産米の品種別検査等級(2/28現在・%)				
品 種 名	1等	2等	3等	規格外
コシヒカリ	19.7	76.8	1.6	2.0
キヌヒカリ	7.2	86.7	5.4	0.8
ヤマヒカリ	51.6	39.0	3.8	5.5
あきたこまち	34.0	64.9	1.1	0.0
みえのえみ	43.5	55.7	0.8	0.0
うるち全体	22.0	74.0	2.2	1.8



(4) 年産別の生育の概況(コシヒカリを中心に記載)

・11年産

移植後から6月上旬までは高温多照で経過したため生育は4~5日程度早まったが、6月末から7月上旬まで本格的な梅雨となったため低温寡照に推移し、やや生育が鈍化した。その後回復はしたものの出穂は平年比4~5日早く7月20日頃となった。登熟期間は気温は平年並みでやや日照不足に推移したため登熟は停滞し、平年に比べ2~3日長くかかった。

登熟はやや不良となったが、粒数が多く確保出来たことから平年並みの作柄となった。北部中山間地を中心に穂いもちが多発した。



## (6) これまでの指導の評価

・食味向上などこれまでの品質向上運動の成果は見られているが、今回のような気象災害の軽減対策については、一般の生産者まで十分に周知されていないのが実態である。近年、生育期間中高温で経過することが多く、気象状況や生育状態にあわせた栽培管理を的確に一般の生産者まで伝えるシステムを構築していく必要がある

## 2 今後の指導について

### (1) 指導内容と指導方法

近年の高温登熟障害の発生要因と対策をまとめるとともに、生産者の意識調査を行い有効な品質向上対策をStar4作戦事務局会議の中で検討した。

県内の各JAで生産者大会を開催し高温登熟障害の軽減対策を確認するとともに、14年2月上旬に県域での生産者大会を開催し、今後の取り組みについての意識統一を予定している。

大会ではこれまでの県産米品質向上運動Star4作戦をベースに、平成14年産は高温登熟障害の軽減を緊急重点課題として位置づけ、品質向上を推進していく方針を定める。

また、Star4作戦を三重県水田農業推進協議会の中の活動として位置づけより効果的に推進する体制づくりを行った。

#### 【指導方針】

##### Star4作戦推進協議会

- ・生産者意識調査の実施 県内中核的農家300戸
- ・コメ品質向上緊急情報 ~稲作の基本技術に忠実な米づくりを実践しましょう~  
県内の生産者全戸配布
- ・全県生産者大会の開催

##### 中央農業改良普及センター

- ・「三重県産米の次年度への課題」  
地域普及センター等の参考資料として配付するとともに、「三重米麦情報」に寄稿
- ・「平成13年産水稻の生育情報第6報」  
地域普及センター等の参考資料として配付するとともに、「営農情報」に寄稿

##### 科学技術振興センター農業研究部

- ・「13年米品質低下要因の解析」

##### 地域農業改良普及センター

- ・品質向上対策資料の作成
- ・各JA主催の生産者大会への資料提供及び指導

#### 【指導内容の要点】

土づくり対策	土壌改良材の施用促進、深耕等により作土深の確保など
水管理の適正化	高温時の間断かん水時の湛水期間の短縮化など
施肥管理の適正化	適正もみ数に抑制した肥培管理の実施 穂肥に有機質肥料の活用促進など
移植時期の適正化	8月初旬の出穂を目指し移植時期の見直し

### (2) 今後の研究課題

登熟期の高温が水稻生理に及ぼす影響を解明し、高温登熟性に優れた品種育成のための選抜方法、及び品質安定のための生育制御技術の研究を予定している。

- ・高温登熟障害の実態把握
- ・高温登熟性に優れた品種選抜法の開発
- ・高温条件下の品質安定栽培技術の開発